

2012年8月29日

JNC幹事 上原

第7回NCフォーラム(旧各国代表者会議)

各国国内委員会の代表者やSecretariesが一同に会するNCフォーラム（旧各国代表者会議）が8月29日（水）に開催された。日本からは、JNC上原幹事が出席した。会議の概要は以下の通りである。

1. 日 時： 2012年8月29日（水）9時～14時00分
2. 場 所： パリ国際会議場 351会議室
3. 参加者： 58カ国中、40カ国程度のNCの委員長や幹事が出席
(CIGRE C/Oの事務局長フランソワ・メリエ氏以下参加)

- K. Herstad氏が議長役を務め、議事進行を行った。主な参加国は、米国、ブラジル、ベネズエラ、アルゼンチン、オーストラリア、日本、ロシア、ボスニア、ポーランド、スイス、オーストリア、フランス、イタリア、英国、ドイツ、アラビア湾岸諸国会議、チリ、中国、スウェーデン、フィンランド、韓国他

4. 審議内容：

1. Introduction by Secretary General

事務局長のフランソワから挨拶があった。本日最近の活動並びにCIGREのC/Oの活動に関して協議を行って行きたい旨、紹介があった。

2. 2012 Session preparation feedback

- Paper allotments
- Registration process

下記事項に関してコメントや協議があった。

- ・ オーストラリア：

- ① 論文のアロットメントに関してコメントがあった。
- ② レジストレーションフォームがソフトのバージョンにより記入しても全く見えないものがあつた。クレジットカードのセキュリティ情報に関して配慮が必要。レジストレーションは非常にスムーズであつた。
- ③登録番号がPDFでWebに掲載されたので論文に関してメールアドレスとレジストレーション番号でダウンロード出来るためこの点に関して問題がある。

- ・ デンマーク：

- ①2010年のCDが2012年のパリ大会前に送付されてきた。配布が遅いのとタイミングが悪い。
- ②新Webに関してはレスポンスも良い。

- ・ 英国：

- ① 参加者の詳細情報がすべてのメンバーが活用できるので情報セキュリティ上問題。

- ・ アルゼンチン：

- ①レジストレーションとクレジットカードでの支払いを別々にしてはどうか？

フランソワから CIGRE C/O としては新しいシステムを導入している。幾つかのエラーや問題があるが、今暫く待つて欲しい旨説明があった。Web やレセプションシステムは非常に改善されたとの説明があった。

プレゼンの標準化を今回行ったが、これに関しても今後議論する必要がある旨 紹介された。参加者の登録番号を外して参加者のリストを掲載した。

CIGRE の従来の Web は 8 月一杯で使用できなくなる。

英国の NC の web サイトと本部の web が良く連系されているのでこれを参考にして貰いたい。

(この件に関しては、JNC も参照して改善していく必要がある。))

Q：この件に関してゲーリング氏から質問があった。

A：CIGRE C/O と SC 並びに NC の情報連系を標準化して行きたい。(フランソワ)

C：第3者に対してこれを行うには各 NC の負担になる。(アルゼンチン)

A：英国では、若手の web チームがこの準備にとりかかった。

Collaborate-tool や management tool に関して今後活用する必要があることの説明があった。オンラインでの支払いについては、注意をして進めた旨回答があった。

Web に関しては、e-CIGRE に関しては非常に強化した。今後のコロキウム、シンポジウム等に関しても使用できるように考えている。

3. Follow-up on actions implemented or underway

- Redesign of the website - further developments

- Presentation on CIGRE activities by

まず J.Christensen 氏がプレゼンテーションを行った。

①CIGRE が配電システムを含むことになるのでこの領域でのメンバーの獲得が可能となる。

- 送電系統：130WGs

- 配電系統：91WGs：スマートグリッドを扱っている。

Smartgrid は各国や地域によって非常に状況が異なっている。

- ・ CIGRE を配電に対して解りやすくしなければならない。
- ・ 各 NC で配電系統が増えることにより新メンバーが増えることになるが、CIGRE をどの様に PR していくかがポイント。

- ・ WG C6.20 “Integration of EV in power system”

- ・ 配電会社が CIGRE の新メンバーになる可能性がある。

スロベニア：CIGRE の Collective member は 70% が現状でも配電会社である。))

ニュージーランド：配電会社の一部は CIGRE が配電システムを扱うことになった事を知らない。

オーストラリア：配電会社は既にメンバー。

ドイツ：既に CIGRE と CIREN で協力している。しかし更に配電会社が参加するかは不明。

ノルウェー：配電系の内容に大学の参加がある。従って大学関係が増える可能性がある。

フィンランド：配電系の会社の参加を求めるのは少し難しい。

英国：配電系統の会社は、既に CIGRE に参加している。

CIGRE は、T&D system を扱っている訳でなく Power system を扱っているとフランソワからコメント。

- Financial support for NC activities

①20,000 ユーロ/年のサポートを行うがその必要性を明確にして 12 月までに申請をして欲しい。(どのような条件かは特に説明無し。)

②ドイツからイベントでの活用に関して質問があったが、これに関しては扱わない方向。

- History of CIGRE

① 2000 コピーを配布する予定。(100,000 ユーロがそれでも掛かる。)

4. Study Committee Membership renewal

- Feedback on process

- Suggestions for improvement

SC・NC のレギュラーメンバーの選定・任期に関してコメントがあった。

ブラジルでは、エクセルで SC メンバーシップの見直しを 2 年、6 年の任期毎に行っている。

ノルウェーから、小さな国では中々メンバーを選定することが難しくこれらの任期は中々決めたようにはならない。

SC の中には若手のメンバーはいない。オブザーバーとしてはある旨、事務局長から紹介があった。SC は、マネジングボディであり、若手の活用に関してそれぞれが考えるべきではないかと提言があった。次世代に CIGRE の活動を伝える必要がある。

5. Membership process

フランソワ事務局長が、下記事項に関してコメント。

1) 標準化が進んでいなく、デジタル化されていないので認証も手入力であり、メンバーが入れたデータがそのままメンバーシップの登録に使用できるようにしたい。

2) ----- (聞き漏らした。)

3) 予算が無かったらメンバーは増やせない。

フィンランド：各 NC でインプットして更にその後 C/O で入力している。無駄が多い。

メンバー情報のメンテナンスが非常に時間がかかる。

オランダ：会員番号をメールでやり取りするのは問題が多い。

英国：Web で自動的に行われている。

アルゼンチン：C/O で統一様式としてこれが web で自動的にすれば良い。

デンマーク：C/O から送られてくるメンバーシップテンプレート (エクセル) が欲しい。

Hyperlink で CIGRE C/O と NC の連系を今後改良して行く。

→来年 WG を作って進めるのはどうか？UK、オーストラリア、・・・ボランタリー？

6. CIGRE/CIREN cooperation

既に 3 項で紹介があったが、関連情報が紹介された。両者の協力は、

1) リスボンでのシンポジウム 160 件の論文が来ている。

2) CIGRE/CIREN の WG を 4 つ作って活動を開始する予定。

7. Activity reports from National Committees

20 カ国の国の Activity Report を受付している。（その他の国はまだ出していない状況で淡々と進めている状況。ドキュメントの提出期限の管理意識は弱い。）

8. Miscellaneous

ニュージーランドから下記の CIGRE シンポジウムの予定が紹介された。

時：2013 年 9 月 16-18 日

場：ニュージーランド・オークランドで開催予定。

SCA3 と B2 とのジョイントシンポジウムを開催する。

2012 年 10 月にドイツで CIGRE と CIRED の会議を行う。HV engineering を扱う予定。

ルーマニアから 2012 年 10 月 10 日-12 日 CIGRE 地域会議@ルーマニア、2013 年開催の CMDM2013 が紹介された。（関連資料の配布がルーマニア幹事からあった。）

米国から下記のシンポジウムの紹介があった。

シンポジウム 2012 年 10 月@USA カンサスシティ

若手のエンジニアの参加を意図している。

以 上

Forum of National Committees of CIGRE

Wednesday 29th August 2012
Palais des Congrès – Room 351
Starting time :9.00 a.m.

Draft Agenda

1. Introduction by Secretary General
2. 2012 Session preparation feedback
 - Paper allotments
 - Registration process
3. Follow-up on actions implemented or underway
 - Redesign of the website – further developments
 - Financial support for NC activities
 - History of CIGRE
4. Study Committee Membership renewal
 - Feedback on process
 - Suggestions for improvement
5. Membership process
6. Activity reports from National Committees
7. Miscellaneous



Forum of National Committee of CIGRE, 29th August, 2012
Developments in the Japanese National Committee

JNC Secretary

1. Organization of JNC (As of April 2012)

Chairman:	Dr. Ichiro Tai
Vice Chairman:	Prof. Akihiko Yokoyama
	Mr. Yoshihiro Doi
Collective members (I):	45
(10 Utilities, 4 Institutes, 1 Railway Company, 30 Manufacturers)	
Collective members (II):	8
Individual members:	356 (52: Young Members)
Honorable member:	2

2. JNC contribution to CIGRE Organization (As of April 2012)

Steering Committee:	Dr. Ichiro Tai,
Administrative Council:	Dr. Ichiro Tai,

3. JNC contribution to CIGRE Activities since 2010

In association with SC meetings in Japan by SC A2 and SC D1, the Japanese National Committee (hereinafter called JNC) organized the Colloquiums in Japan during the year of 2011 under the collaboration with the respective SC National Panel. It was successfully held in Doshisha University, Kyoto (Japan) on September 11-16. More than 200 participants from 35 countries attended this joint colloquium.

In addition, JNC chairman Dr. Ichiro TAI and JNC secretaries attended Asia Oceania Regional Council of CIGRE (AORC) meeting in Chiang Mai of Thailand in October 2011. Secretary General Mr. Meslier and TC committee chairman Professor Frölich from CIGRE central office attended this meeting and exchanged opinions for CIGRE activity in this region. 200 participants from 17 countries attended AORC Technical Meeting, this meeting was successfully held and the recorded the biggest numbers of attendee in AORC

4. Promotional action to increase CIGRE members

JNC distributed promotion mails to all the members of the CIGRE SC National Panels to introduce CIGRE activities and advantages to become a Member of CIGRE. By this promotion activity, the number of Individual members has increased to 356 as of April 2012. Young engineers are also intensively invited to join CIGRE so that JNC's activities become more active.



5. SC Meetings in odd years

JNC is positively inviting SC Meetings to Japan to be held in odd years.

Two SC Meetings (SC C3 and C6) will be held in the year of 2013 in Nara and Yokohama respectively. JNC welcomes SC Meetings beyond 2015!

6. Public Relations Activities

JNC Homepage for members and non-member

HP is continuously updating to introduce the latest activities in CIGRE.

English-version of Home Page has been open to strengthen networking with other National Committees. But the contents aren't enough, so JNC decided to increase the information of JNC by the end of 2012.

7. Technical Activities at National Level

Paris Session Papers

No. of Session Papers Accepted in the last six Paris sessions:

18 ('00) 21 ('02) 23('04) 27('06) 29('08) 28('10) 30('12)

All session papers submitted from Japan are evaluated by JNC Papers Committee before the first submission and reviewed by JNC members before the final submission to Paris Office, based on strict Selection Criteria.

Excellent papers from Japan for Paris Session are awarded by JNC. For 2010 Paris Session, JNC awarded three papers as 'excellent'. The number of paper accepted in 2012 is the biggest one.

National Panel and JNC Technical Committee Meeting

Japanese Regular Member:

8 Members from Utilities, 4 Members from Manufacturers, 4 Members from Academia (Universities & Institutes)

Each SC has a National Panel whose chairman is a Japanese Regular Member. Japanese panel consists of the 10 to 20 members from utilities, manufacturers and academia. The maximum number of Panel meetings in a SC is 15 times in 2011.

JNC has a regular Technical Committee Meeting, composed by all SC regular members, JNC Chairman/Vice-Chairman and Secretaries so that all the members in Japan can share information and exchange opinions relating to CIGRE activities, especially relating to an opportunity of SC meetings in Japan.